

## 「見守り推進プロジェクト」の状況について（令和3～4年度（第3四半期））

## 1 見守りダイヤル

【令和4年度（12月末まで）】

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
通報件数		22	20	19	33	31	28	15	16	31	215
通報者 内訳	福岡見守るっ隊	1	2	1	9	5	1	5	1	8	33
	民生委員	3	2	2	1	2	8	1	0	2	21
	上記以外	18	16	16	23	24	19	9	15	21	161
対応内訳	現場対応	12	12	10	20	19	13	8	13	18	125
	電話対応等	10	8	9	13	12	15	7	3	13	90
対応結果	救命等	5	1	2	3	5	3	1	3	3	26
	死亡	2	4	2	4	7	5	0	3	1	28
	生存等確認	15	15	15	26	19	5	7	7	14	123
相談・問合せ件数		30	19	18	18	13	10	13	13	19	153
総件数		52	39	37	51	44	38	28	29	50	368

【事業開始からの推移】

（単位：件）

		平成 25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度	累計
通報件数		65	167	167	195	227	250	278	266	279	1,894
通報者 内訳	福岡見守るっ隊	13	28	20	29	41	42	54	34	43	304
	民生委員	14	35	37	39	39	29	39	26	32	290
	上記以外	38	104	110	127	147	179	185	206	204	1,300
対応内訳	現場対応	40	113	114	151	160	172	169	129	166	1,214
	電話対応等	25	54	53	44	67	78	109	137	113	680
対応結果	救命等	6	11	18	20	30	30	23	23	39	200
	死亡	8	21	24	41	46	40	53	48	52	333
	生存等確認	51	135	125	134	151	180	202	195	188	1,361
相談・問合せ件数		112	162	158	193	225	216	331	222	269	1,888
合計		177	329	325	388	452	466	609	488	368	3,602

※1 室内で倒れていたため、救急車で搬送したケース等（すべてが救急搬送ではない）。

※2 死亡していたが、早期発見できたケースも含む。

※3 入院や入所、在室、同居人等に生存確認。住民票による死亡・転出の確認等。

## 2 事例

○事例1 【対象者】80代・女性 【結果】救出

通報理由	対象者宅を配達のため、訪問したところ、新聞が3日分残されている。電話や訪問もしたが応答がないとして、新聞配達員が見守りダイヤルに通報。
対応結果	現場に出動。現地確認の結果、対象者は室内にいる可能性が高く、緊急性も高いと判断。トイレ前の廊下で動けなくなっている対象者を発見し、救急搬送となった。

○事例2 【対象者】80代・女性 【結果】救出

通報理由	昨日届けた夕食が残されたままとなっている。訪問時には必ず玄関扉の鍵が開けられており、扉を開けて声かけをしても応答がないとして、宅配サービス従業員が見守りダイヤルに通報。
対応結果	現場に出動。呼びかけながら扉を開けると、体調が悪そうな様子で廊下に座り込んでいる対象者を発見し、救急搬送となった。

○事例3 【対象者】70代・男性 【結果】生存確認

通報理由	対象者宅に商品を届けるために訪問したところ応答がなく、電話も繋がらない。対象者は毎回手渡しで商品を受け取っている方。新聞も3日分溜まっているため、宅配サービス従業員が見守りダイヤルに通報。
対応結果	現場に出動。現地確認を行ったところ、新聞が残っている以外の異変は感じられず、近隣住民に聞き込みを行ったところ、脳腫瘍のため、緊急入院していることが判明した。

## 3 その他

令和3年度は279件、令和4年度（12月末まで）は215件の通報をいただいております。

協力企業の皆様からの通報が主要なものとなっており、日々、訪問活動を行っているからこそ、ちょっとした気づきは、現地確認において大変参考となる情報です。お忙しい中とは思いますが、お気づきになった些細な変化の情報も含め、ご提供いただければ幸いです。

引き続き、訪問活動の範囲内で見守り活動にご協力をよろしくお願いいたします。